

事業実施報告書

法人名	NPO法人yosuga
活動名	社会貢献団体へのIT支援活動
助成事業の種類	SDGs推進活動助成 パートナーシップ分野
事業の目的	
ITを活用して、社会に貢献する団体の活動を支援し、次に寄与することを目的としています。	
・業務負担を軽減し、団体が社会貢献活動に専念できるようにする	
・社会貢献団体の活動をより効率的・効果的なものにする	
事業で取り組んだ地域や社会の課題	
近年、社会ではあらゆる場面でIT化が進み、従来のアナログな業務プロセスからデジタル技術を活用した新しい業務プロセスへ、デジタルトランスフォーメーション(DX)が積極的に取り組まれています。しかし一方、地域社会へ貢献する様々な団体においては、IT活用がまだまだ浸透していない状態にあります。これは、ITリテラシーがある人材が団体にいないことや、IT導入を外部委託するための資金がないことに起因する場合があります。	
ITを活用できないことにより、運営活動に労力負担がかかっており、本来の社会貢献活動に専念できていない状態が見受けられます。	
取り組んだ事業の具体的な内容・実施結果	
■子どもの居場所づくり支援（支援先：越谷こどもサポートネットワーク・りそなYOUTH BASE／期間：6月～2月）	
・子どもの居場所にあるITデバイス（無線LANルーター・Windowsパソコン・Macノート・スマホ）のメンテナンス（毎月1回 計9回）	
・ホームページや子どもの居場所の利用予定表の更新（毎月1回 計9回）・講座やイベントのチラシ制作（5部）	
■就労支援（支援先：さいたまユースサポートネット／期間：9月～2月）	
働きたくても働けない若者がITの仕事にチャレンジするワークショップを開催。事業者や団体のIT業務の一部を実施し納品。毎月2～3回計14回開催	
1回あたりの参加人数3～8名、平均5.2名。合計実人数15名。下記の制作を13案件を実施し、9案件 納品済み、4案件 継続。	
訪問診療クリニックホームページ・キッチンカー看板デザイン・名刺デザイン・EXCELチェックシート・イベントチラシ・Web記事・RPAなど	
事業実施により達成した成果の具体的な内容	
■子どもの居場所づくり支援	
子ども達が安全にITに触れることで、ITに興味を持つきっかけや、デジタルマインド・リテラシーの醸成に貢献しました。	
ITに関わる業務の負担を軽減し運営の一助を担うことで、活動の効率化を図ることができました。	
■就労支援	
ITワークショップは参加者にとって、外出や人と会話する機会になったり、やりがいや達成感を感じることができる場となりました。	
これをきっかけに、個人としてホームページ制作の仕事を受けたり、クラウドソーシングを始める方もいらっしゃいました。	
IT業務を通して実際に社会に役立つことで、社会との関わりを持ち、次の一歩を踏み出すきっかけを提供することができました。	

費用面での工夫
就労支援のITワークショップを開催するにあたり、下記の費用を削減しました。
・本来 会場費がかかるところ、さいたまユースサポートネットワーク様のご厚意により、無料にいただきました。
・参加者に徒歩や自転車を利用する者が多く、交通費が想定より少なくなりました。
地域社会への還元
子どもの居場所づくりを行う団体や若者の就労を支援するNPOをサポートすることにより、地域社会への貢献を達成することができました。
更に、実施したITワークショップにおいて、個人事業主やNPO団体の皆様が、IT人材の不足などを理由に、これまで着手することができずにいた
業務を完了させることができ、地域への貢献に繋がりました。これらの活動を通して、地域社会に貢献する各種団体や地域の事業者の皆様のニーズを満たす
ハブとしての役割を果たすことができたと考えております。
今後どのように事業を継続し発展させるか
子どもの居場所づくり支援とITワークショップの就労支援活動は、現状維持を基本とし、今後も継続してまいります。
また、他のNPO団体からもIT支援のニーズがある限り、可能な限り活動を継続させていきたいです。
そのため、活動の継続と発展のためには、これまで以上に地域の事業者様やNPO団体様とのコネクションをより一層大事にしていくことが重要であると考えております。
さらに、地域の事業者様やNPO団体様の魅力を効果的に発信していくことができれば、当NPOの活動の更なる発展にも繋がるものと考えております。
一方で、活動継続のためには、資金繰りの課題は依然として存在しており、今後も費用の抑制と助成金への応募をが不可欠であると考えております。

事業収支計算書

法人名 NPO法人yosuga

1 収入の部

(単位:円)

項目	予算額 A	決算額 B	増減額 C=B-A	備考
助成金	275,000	271,000	△ 4,000	
自己資金	213,012	213,166	154	
活動実施による収入等	0	0	0	
その他	0	0	0	
収入の部 合計	488,012	484,166	△ 3,846	

2 支出の部

(単位:円)

項目	予算額 A	決算額 B	増減額 C=B-A	備考
会場費	0	0	0	
通信運搬費	0	0	0	
旅費交通費	89,538	85,734	△ 3,804	
消耗品費	4,230	4,175	△ 55	
備品費	267,286	267,286	0	決算額のうち 213,066円は助成対象外
委託費	0	0	0	
謝金	80,184	80,184	0	
人件費	46,774	46,774	0	
その他	0	0	0	
支出の部 合計	488,012	484,153	△ 3,859	